

Believe Your Business Goals at

JAPAN INTERNATIONAL AEROSPACE EXHIBITION

October 9 (Tue) to 14 (Sun)
2012

GOYA, JAPAN

Program of the B to B Meetings

October 9-10-11, 2012

Trade days

To industry professionals only

Organizer: The Society of Japanese Aerospace Companies (SJAC)



October 9 (Tue) to 11 (Thu)
2012
NAGOYA, JAPAN

BtoB Meetings

IN PARTNERSHIP WITH

BCI AEROSPACE

CONTACTS

Authorized Business events - BCI Aerospace Division
General organization of the BtoB Meetings for JA2012
1517 Nishiki Bldg. 4F, 1-1-1 Nishiki, Naka-ku, Nagoya
Tel: 052-636-1100 FAX: 052-636-1101
E-mail: bto@bciaero.co.jp

Telephone: 052-636-1100

FAX: 052-636-1101



2012 年国際航空宇宙展 (JA2012) 結果報告書

一般社団法人 日本航空宇宙工業会



JA2012 REPORTS by SJAC Headquarters

2012 年国際航空宇宙展（JA2012）トピックス！

- 出展社数、出展カ国数、入場者数等、目標値以上を達成！
- 海外からの企業・団体の出展は 199 社（前回の 30% 増）で国際ビジネス拡大への環境整備を実施！
- 初めて BCI 社のシステムを活用したビジネスミーティングを実施し 2 日間で 3,497 回・人の商談会を実現！
- 15 テーマ（90 名の講師）にわたるビジネス講演会を実施！
- 日本航空宇宙フォーラム（JAIF）をはじめ、地方自治体との連携により全国のクラスターが参加！
- 29 年ぶりに飛行場での展示を実現！
- 期間前 4 カ月でテレビ 67 件、新聞 153 件等、メディアを通じた報道により国民への理解向上、パブリック入場者増を達成！
- 16 万人の規模で、期間中の事故や急病人の搬出等がゼロ！
- ユーロコプター社が EC135：1 機、AS350B3e：7 機の販売、リンク社が ATR72-600：3 機の購入を報道発表！

I N D E X

2012 年国際航空宇宙展（JA2012） 実施結果概要	P1
名古屋市国際展示場ポートメッセなごや会場	P2~P3
中部国際空港セントレア会場	P4~P5
セミナー関連と航空宇宙業界のコミュニケーション交流	P6
2012 年国際航空宇宙展（JA2012）出展社一覧（一部抜粋）	P7
B to B その 1：主催者企画による商談会	P8
B to B その 2：出展者個別商談会	P9
セミナー・シンポジウム	P10~P11
パブリックイベント（ポートメッセなごや）	P12
パブリックイベント（中部国際空港セントレア）	P13
広報 P R ・メディア告知活動 -1 JA2012 事務局活動	P14
広報 P R ・メディア告知活動 -2	P15
主要新聞（全国紙）の報道実績（クリッピング総数 170 以上）	P16
2012 年国際航空宇宙展（JA2012）基本マーケティングデータ一覧	P17

2012 年国際航空宇宙展（JA2012） 実施結果概要

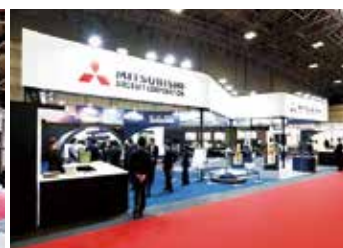


この度は 2012 年国際航空宇宙展 (JA2012) へのご出展、ご参加を賜り誠にありがとうございました。お陰さまで JA2012 は大盛況で 16 万人以上の来場者を得るに至りました。出展者並びに関係方面の皆様方のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますと共に、今後ともさらなるビジネスの発展と交際交流の進展が継続的に図られることを期待しております。

一般社団法人 日本航空宇宙工業会 会長 長谷川 聡

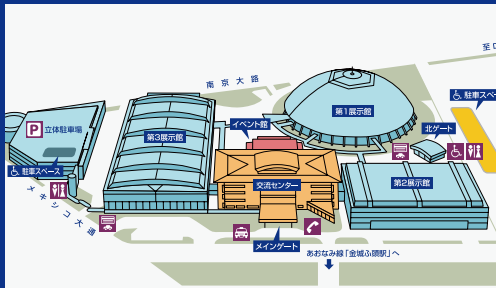


- 開催概要 2012 年 10 月 9 日 (火) ~ 14 日 (日)
ポートメッセなごや
2012 年 10 月 12 日 (金) ~ 14 日 (日)
中部国際空港セントレア
- (主催) 一般社団法人 日本航空宇宙工業会
- (特別協力) 愛知・名古屋支援会議 (愛知県、名古屋市、常滑市、
(一社) 中部経済連合会、名古屋商工会議所、
(公財) 名古屋都市産業振興公社、名古屋観光コンベンションビューロー、(社) 中部航空宇宙技術センター)
中部国際空港セントレア
- (後援) 経産省、防衛省、国交省、内閣府、外務省、総務省、
文科省、観光庁、米国他各国大使館、JAXA、JETRO、
NEDO 他関連各組織
- 参加国数 32 カ国・地域
- 出展社数 664 社・団体 (セントレア 28 社・団体含)
- 展示ブース数 243 ブース (993 小間)
- 商談件数 3,497 回 (2 日間の主催者企画のみ)
- トレード来場者数 21,753 人 (4 日間)
※日別登録者の積算によるネットカウント数
- パブリック来場者数 141,131 人
※ポートメッセ会場 20,454 人
※セントレア会場 120,677 人
- 開催会場面積 ポートメッセ 27,000㎡
セントレア 100,000㎡
- 取材メディア数 111 社、390 名
- 事前報道総数 TV・新聞・雑誌・官報など 90 件
- 配布物 (事前) パンフ・ポスター類 計 27 万部
- 配布物 (開催中) 公式プログラム、会場MAP 等 計 13 万部



名古屋市国際展示場ポートメッセなごや会場

NAGOYA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER PORTMESSE NAGOYA



- 3 館で 34,000㎡を誇る中部地区最大の展示場。
- イベント館、交流館、8,200 台の駐車場を有する。
- あおなみ線で名古屋駅から 24 分、金城埠頭駅徒歩 5 分。

10月9日（火）～12日（金）トレードデーの状況

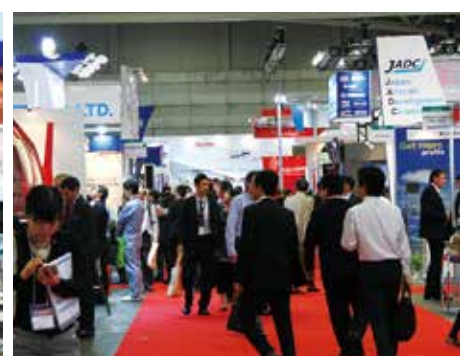
10月9日（火）～12日（金）の4日間共良い天気恵まれ、たくさんの来場者で会場は賑った。会場内は展示会中心の運営から、トレード・商談重視の運営になり中身の充実した展示会となった。



ポートメッセ会場 1 号館・3 号館展示状況とトレード活性の状況

出展社・団体数：国内 437、海外：199 参加国数：32 各国・地域

トレード総入場者数：21,753 名 パブリック総入場者数：20,454 名 以上計：42,207 名 目標達成率 104%



主催者展示・運営の状況

- 日本の航空技術 100 年の歩み (1 号館展示)
- 宇宙開発の歴史 (1 号館展示)
- 精密ラジコンスケール機展示 (1 号館展示)
- J A 2 0 1 2 オフィシャル・ショップ運営

● 日本の航空技術 100 年の歩み (1 号館展示)

監修：航空ジャーナリスト青木謙知氏

協力：熊本県人吉市 (ハンスグラード機実大模型)

三菱重工業 (株)、川崎重工業 (株)、富士重工業 (株)、防衛省、
各務原航空宇宙博物館、J A X A 他

主旨：我が国で最初の航空機が飛んでから 100 年が経った。その間、
国内における航空機製造技術の発展史を写真と精密模型で紹介。
1910 年最初の公式飛行記録・徳川大尉と同日に飛行した日
野熊蔵大尉のハンスグラード機の原寸模型を展示。



● 宇宙で活躍する日本企業 (1 号館展示)

監修：S J A C 常務理事 秦 重義

協力：J A X A、日本宇宙フォーラム、水戸市総合教育研究所
(株)紙宇宙

主旨：日本のロケットを含む世界のロケット開発史上を模型にて年代
順に展示し、合わせて日本で運用中の代表的な衛星を 1/10 ス
ケールのペーパークラフトで展示することにより、日本企業の
活躍ぶりを紹介。



● 精密ラジコンスケール機展示 (1 号館)

監修：S J A C 事務局 部長 宮修一

協力：日本各地のラジコンクラブ有志の方々

主旨：1/9 ~ 1/2.5 縮尺の飛行可能なラジコンスケール機を展示。
U S - 2, F - 2, T - 1 ほか国産自衛隊機、零戦、隼、疾風、
飛燕、スピットファイアー、ムスタングなど国内外の大戦機を展示。



● J A 2 0 1 2 オフィシャルショップの設置運営

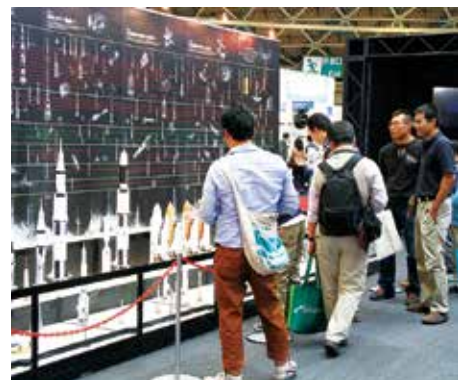
協力：東急ハンズ(株)、中部国際空港(株)

主旨：日本航空宇宙産業の現況や将来への展望について記載した公式
プログラムを事務局で監修、販売。

J A 2 0 1 2 記念品グッズ類として帽子、ステッカー、T シャツ
などを販売。

● 案内オフィスの設置運営

出展者のビジネス促進を支援するため、J A 事務局、施工・運営事務局
を 3 号館に設置運営し、きめ細やかなサポートを提供。



中部国際空港セントレア会場 CENTRAL JAPAN INTERNATIONAL AIRPORT



- 国内 16 都市、海外 29 都市を結ぶ国際空港。
- 24 時間使用可能な 3,500 m の滑走路を持ち年間旅客数約 900 万人と国内第 6 番目に繁忙な空港。
- 名古屋駅から最短 28 分。
- ユニバーサルデザイン
- 商業施設の充実等、多角経営にて、2011 年旅客数規模別 CS 満足度世界 NO.1。
- B787 主要構造物をシアトルへ出荷する空港としても有名。

日本の航空宇宙機開発の実力を国内外に示すため、国内開発機をテーマに 29 年ぶりとなる飛行場での開催となった。また将来の航空宇宙業界を担う若き人材を育て、さらに航空機業界に対する理解を深めるために、各種職業紹介のブース展示も行った。国際空港初となる試みのため制約はあるもののブルーインパルス®の展示もあり天候にも恵まれ 10 万人を超える航空宇宙ファンが来場、当初の予定を大幅に超え成功した。



- **航空機の屋外／飛行展示を実施** 国際空港の通常運用に大きな影響を与えることなく、万全な態勢で 10 万人以上の来場者を迎えることができた。
- **飛行機やヘリコプターが主体的に参加** 自衛隊、海上保安庁、消防局、航空局、新聞社及び各企業等、過密な運用スケジュールの中、各方面のご理解により実現した。
- **ブルーインパルス®の展示飛行** 民間航空機の離発着の合い間 10 分間、キューピットやさくらなど特別にアレンジされた演技を披露し、待ちわびた多くのファンの喝采を浴びた。





● ドリームリフターへの荷物搭載作業実演

世界に4機しかないドリームリフターが2機セントレアに集結した。

2012年10月12日(金) B787主要構造物である胴体(川崎重工製)と中央翼(富士重工製)の搬入作業を身近で見ることができた。前日に左右主翼(三菱重工製)を搭載したドリームリフターが同日飛び立って行った。

セントレア空港第2会場(空港特設ビル内) 航空宇宙業界への職業紹介コーナーの様子

● 職業紹介ブース、物販ブースで大賑わい

どうしたらパイロットに、メカニック、管制官等になれるのか? 教育機関や企業のブースの説明や展示で多くの人が理解を深めた。また航空書籍、模型、関連グッズ、古切手の販売で盛り上げた。



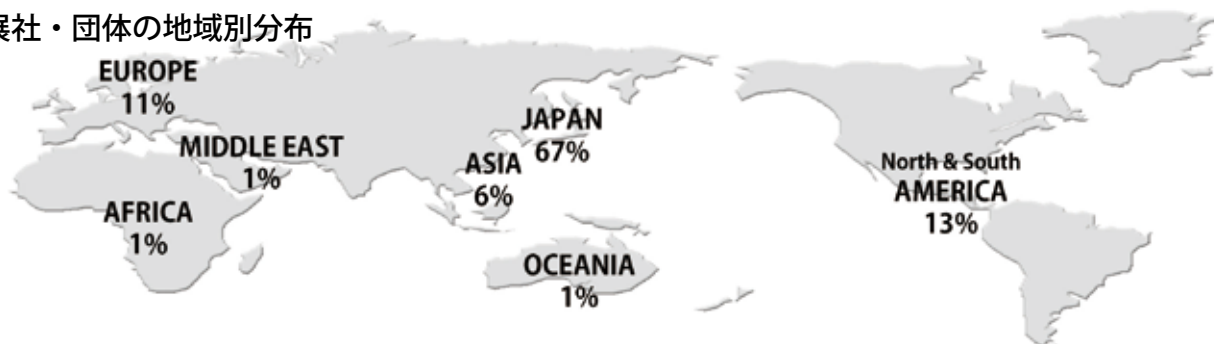
セレモニー関連と航空宇宙業界のコミュニケーション交流

開会セレモニー取材のメディア数は商談中心の国際展示会としては最多！

愛知県の大村知事、名古屋市の河村市長、地元経済界、航空宇宙業界における中核的役割を担う方々が参列したオープニングセレモニーとなった。これらを取材するメディアの数は100社350名を超え、商談トレードを主眼に置いたB to Bタイプの国際展示会としては珍しく取材陣の多いスタートとなった。

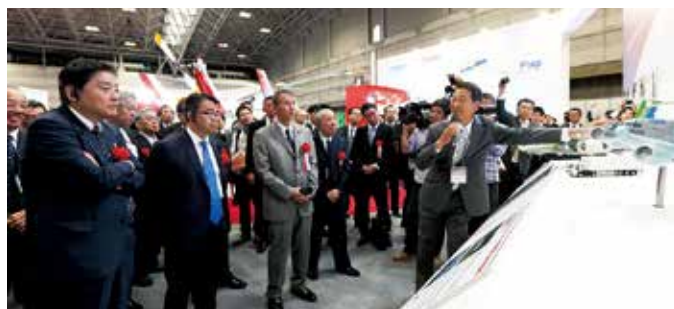
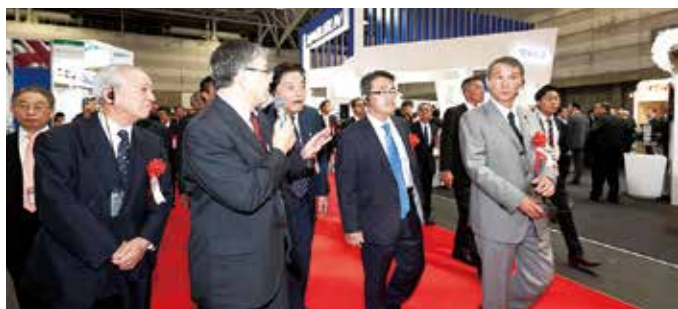


出展社・団体の地域別分布



内覧会

S J A C理事の案内のもと経済産業省、愛知県、名古屋市をはじめ地元の自治体、経済界、大手企業幹部の方々が、各ブースを訪問。航空宇宙産業を推進する地元から多くの期待が寄せられた。



レセプション

初日セレモニー・レセプションは官公庁、自治体、各国大使館関係者、出展企業、団体関係者など総勢600名以上で盛大かつ和やかに開催された。



2012 年国際航空宇宙展 (JA2012) 出展社一覧 (一部抜粋)

※ 海外出展社／アルファベット順 国内出展業者／五十音順

■海外出展企業

A.S.I (Agenzia Spaziale Italiana)
Asto-und Feinwerktechnik Adlershof GmbH
ADS GROUP LTD
AgustaWestland SpA
Air Ambulance Technology
ALCOA FASTENING SYSTEMS
Analytical Graphics, Inc
ARIANESPACE
Asian Press Group
BCI Aerospace
Torino Piemonte Aerospace
BINDER TECHNOLOGIE GMBH
KANFIT LTD.
DURR SYSTEMS GMBH
The Boeing Company
Bombardier
中国産業団体総合駐日事務所
e2v
EADS
Embassy of CANADA
Government of British Columbia
Government of Ontario
Government of Quebec
株式会社東通インターナショナル
DMC エアロスペース
Aerospace Welding Inc.
クレアフォームジャパン
Avcorp Industries
Embassy of the Czech Republic
Association of the Aviation Manufacturers
Confederation of the Czech Aviation Industry
Czech Space Alliance
Evektor, spol. s r.o.
UNIS, a.s.
Frentech Aerospace s.r.o.
Iguassu Software Systems a.s.
Ministry of Transport of the Czech Republic
Czechinvest
"Embassy of The Republic of Poland, Trade & Investment Promotion Section"
Zaklad Szybowcowy "Jezow" - Henryk Mynarski
Polish "Aviation valley" and 9 companies
Polish Agency for Enterprise Development
Polish Information and Foreign Investment Agency
Industrial Development Agency
(Special Economic Zone EURO-PARK MIELEC)
ZELNAR Zaliad Narzedziowy Sp. z o.o. (Aviation Valley)
Firma Projektowo-Uslugowa "WALDREX" Sc. (Aviation Valley)
CAV AEROSPACE LIMITED Sp. z o.o. (Aviation Valley)
Norbert Polska Sp. z o.o. (Aviation Valley)
"Aviation Valley" Association (Aviation Valley)
Port Lotniczy Lublin S.A. (Aviation Valley)
FIN Sp. z o.o. (Aviation Valley)
Zaklady Metalowe ERKO (Aviation Valley)
REMOG Polska Sp. z o.o. (Aviation Valley)
PPHU ROYAL - STAR (Aviation Valley)
Federation of Indian Chambers of Commerce and Industry (FICCI)
FIDAE
Honeywell Aerospace
HW LIMA Sdn Bhd (LIMA2011)
ILA 2014 Berlin Air Show/Messe Berlin
Impro (China) Limited
Infotech Enterprises
International Aviation and Space Salon MAKs
International Aerospace Quality Group (IAQG)
International Science and Technology Center
Jena-Optronik GmbH
Kallman Worldwide, Inc
Business Oregon
Kitco Defense
Advanced Tech Supply, Inc
Breeze-Eastern
TW Metals
Kulite Semiconductor Product
Aerojet
Esterline
Esterline Control Systems
Esterline Power Systems
NAVY BMD
Pratt & Whitney
Aethercomm, Inc.
Avion Teq
General Atomics Aeronautical Systems Inc.
Rogerson Kratos
State of California
Toughguard, LLC
US Embassy
Viking Aerospace
Hydraulics International
Korea Aerospace Industries Association (KAIA)
Korean Pavilion - Kotra / KAIA
DANAM System Inc.
e-PAP KOREA Co., Ltd
Firstec Co., Ltd
Gyeongnam Technopark
Korea Aerospace Research Institute (KARI)
Korea Aerospace Technology Institute (KATRA)
Korea Electronics Technology Insyitute (KETI)
Korea Lost-Wax Co., Ltd
SAMCO
YEONHAB PRECISION CO., LTD
Korea Trade-Investment Promotion Agency
KOREA JIC & FIXTURE
LORD CORPORATION
LOCKHEED MARTIN
LUPA AIRCRAFT MODEL
Motor Sich JSC
NBAA
Parker Hannifin Cotporation Aerospace Group
Parts Base Inc.
Phillips Screw Company
PROMEXICO
SPECIALTY COATING SYSTEMS/PARYLENE JAPAN
State of Missouri, Department of Economic
State of North Carolina Japan Office
Taiwan Aerospace Industry Association
Aerospace Industrial Development Corporation
Chenfull International Co., Ltd.
Aero Win Technology Corporation
Magnate Technology Co., Ltd.
Gloria Material Technology Corp.

TOPKET Excellence In Composites
Avio Cast Inc.
National Aerospace Fasteners Corporation
Committee for Aviation Industry Development, MOEA
Metal Industries Research & Development Centre (MIRDC)
TIMET
TIDODIZE
UbiFrance(Coparticipation with GIFAS)
GIFAS
ASB GROUP
LISI AEROSPACE
FIGEAC AERO
SUNAERO
THALES
珠海航展有限公司

■国内出展企業

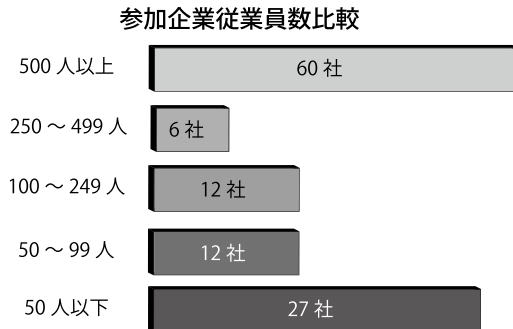
株式会社 I H I
株式会社 IHI エアロスペース
愛知・名古屋航空宇宙産業クラスター
オーエムピー株式会社
株式会社三光物製作所
ベリカンプロダクツ株式会社
株式会社前田シェルサービス
株式会社船屋
曙工業株式会社
アイコアルファ株式会社
東明グループ：東明工業株式会社
東明グループ：東明エンジニアリング株式会社
東明グループ：株式会社ビュエムシー
東明グループ：茨木工業株式会社
名古屋空港ビルディング株式会社
朝日航空株式会社
中日本航空株式会社
株式会社中央国研
東洋精鋼株式会社
有限会社加藤精密工業
株式会社中央エンジニアリング
和田グループ：株式会社和田製作所
株式会社エアロ
株式会社シーアールイー
旭金属工業株式会社
東洋航空電子株式会社
株式会社システック井上
株式会社西村製作所
株式会社三光製作所
株式会社 TEKNA
東海光学株式会社
株式会社ハヤカワカンパニー
株式会社東京ロストワークス工業
グレッター・ナゴヤ・インシアティブ協議会
中菱エンジニアリング株式会社
ベストテック株式会社
株式会社アルプス技研
ジー・エヌ・エス株式会社
株式会社バイオニア風力機
サンドビック株式会社コロマントカンパニー
ナ海運株式会社
株式会社浦部製作所
愛知県
名古屋市
航空宇宙シンポジウム実行委員会
株式会社オプトン
株式会社住化分析センター
株式会社アイティエキヤノン
株式会社 アクエイト
アスコット株式会社
アラスコプロ株式会社
アネスト岩田株式会社
アルテック株式会社
株式会社アルファアビエーション
アプフェーノールジャパン株式会社
アンベックスジャパン株式会社
イーグル工業株式会社
株式会社石川組
財団法人 石川県産業創出支援機構
浅下鍍金株式会社
株式会社三洋製機
株式会社高林製作所
谷田合金株式会社
株式会社フィッティング久世
深田熱処理工業株式会社
松本機械工業株式会社
伊藤忠アビエーション株式会社
伊藤忠商事株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
UEMURA GROUP
独立行政法人宇宙航空研究開発機構
エアロファシリティー株式会社
財団法人衛星測位利用推進センター
NTN 株式会社
エヌ・ディー・ケー・インターナショナル株式会社
エビナ電化工業株式会社
エムティエスジャパン株式会社
オーエスジー株式会社
大河内金属株式会社
公益財団法人岡山県産業振興財団
オリンパス株式会社
海外物産株式会社
神奈川県
JASPA 株式会社
兼松エアロスペース株式会社
兼松株式会社
カールストルツ・エンドスコーピー・ジャパン株式会社
川崎重工業株式会社
川崎重工業サービス株式会社
株式会社キグテックニクス
KISCO 株式会社
岐阜県・各務原市
岐阜県プラスチック工業株式会社
川崎岐阜協同組合
ユービーシーエアロスペースリティ株式会社
株式会社ビー・アール・テクノセンター
株式会社エフ・ビー・エス
九州工業大学・超小型衛星試験センター・九州航空宇宙開発推進協議会
株式会社エフ・ビー・エス
クロニクス株式会社
KYB 株式会社
株式会社航空新聞社
有限会社航空総合研究所
株式会社航空ニュース社
神戸市役所
株式会社神戸製鋼所

コーンズテクノロジー株式会社
国土交通省航空局
小島プレス工業株式会社
株式会社コスモサウンド
有限会社岩倉橋工業所
有限会社岩倉橋工業所
株式会社エスエック
エンシュウ株式会社
株式会社オリオン工具製作所
金子歯車工業株式会社
サカイ産業株式会社
株式会社テクノ・モーターエンジニアリング
株式会社フローテック工業所
株式会社アヤマ精工
エアロスペース飯田
株式会社乾光精機製作所
有限会社アイエス精工
有限会社 矢崎製作所
飯田精機株式会社
有限会社ユーズテック
山京インテック株式会社
株式会社協和精工
株式会社赤羽製作所
クロダ精機株式会社
株式会社浜島精機
株式会社エヌ・イー
三洋機工業株式会社
三洋機工業株式会社
サワトラエンジニアリング株式会社
株式会社ジェイテック
株式会社ジェービーエム
株式会社ジェビコ
四国地域イノベーション創出協議会
株式会社プロテック
サウンドサイエンス株式会社
静岡県
株式会社島津製作所
株式会社島精機製作所
JAIF-KANSAI
株式会社寺内製作所
株式会社 KOYO 熱錬
ハードロック工業株式会社
次世代航空機部品供給ネットワーク (OWO)
YURA AERO NETWORK
"首都大学東京システムデザイン研究科 航空宇宙工学域"
株式会社ジェビターコーポレーション
株式会社 昌新
独立行政法人 情報通信研究機構
株式会社シンキ
新東工業株式会社
シンフォニアテクノロジー株式会社
新明和工業株式会社
スカイレーベル株式会社
スカパーJ S.A.T 株式会社
株式会社スギノマシン
スーパリー株式会社
スナプオンツールズ株式会社
住友精密工業株式会社
全日本空輸株式会社
ゼンハイザージャパン株式会社
相互発條株式会社
株式会社ソルトン
第一工業大学
株式会社第一システムエンジニアリング
NPO 法人宇宙工学コンソーシアム (大学)
株式会社ダイセル
大同特殊鋼株式会社
台湾貿易センター (TAITRA)
ダッソー・システム株式会社
多摩川精機株式会社
株式会社中金
ちゅうごく地域航空機関連産業クラスター
公益財団法人やまぐち産業振興財団
公益財団法人岡山県産業振興財団
公益財団法人ひろしま産業振興機構
株式会社ひびき精機
近藤自動機株式会社
株式会社明和製作所
新川電機株式会社
三陽鉄工株式会社
株式会社戸田レーシング
株式会社山本金属製作所
株式会社ユニオンアロー・テクノロジー
堀金属表面処理工業株式会社岡山工場
株式会社ヒロコーポレーション
下関次世代産業研究チーム
中日クラフト株式会社 D S I レーザー事業部
中部経済産業局
中部国際空港株式会社
TACC 株式会社
ディー・ディー・シーエレクトロニクス株式会社
帝京大学
デロイト トーマツ コンサルティング株式会社
ドイチエ・ジャパン株式会社
東京計器株式会社
株式会社東京測器研究所
東京都
AMATERAS
株式会社塩野製作所
三益工業株式会社
多摩冶金株式会社
株式会社山崎製作所
株式会社上島熱処理工業所
株式会社ナガセ
株式会社大崎金属
電化被膜工業株式会社
大和合金株式会社
金属技研株式会社
東京ビッグサイト
株式会社東通インターナショナル
東北航空宇宙産業研究会
東北大学流体科学研究所
東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻
アルバック東北株式会社
有限会社橋機工
アキモク鉄工株式会社
米沢放電工業株式会社
株式会社スター精機
秋田精工株式会社
協和精工株式会社
株式会社童夢カーボンマジック
東レ株式会社
株式会社トードインターナショナル
とちぎ航空宇宙産業振興協議会・栃木航空宇宙懇話会
アーテック株式会社
株式会社アイ・エス
株式会社石井機械製作所
エーシーエー栃木株式会社
菊池歯車株式会社
機説株式会社
株式会社テツカリエート
トーメイダイヤ株式会社
東都興業株式会社
株式会社栃澤金型製作所
株式会社マツモトセイコー
株式会社湯原製作所
富山県航空産業交流会
コマツ NTC 株式会社
株式会社シキノハイテック
株式会社スカイ
株式会社スギノマシン
立山マシニング株式会社
中山電材株式会社
ファインテック株式会社
北陸電気工業株式会社
株式会社ミズノマシナリー
株式会社ユニオン
株式会社レックス
ワンマイヤー株式会社
豊田通商株式会社
株式会社永島製作所
ナカノ・アビエーション株式会社
公益財団法人長野県テクノ財団
赤田工業株式会社
有限会社ゲン・コーポレーション
KOA 株式会社
試作開発企業グループ試作ビズ
東京電機株式会社
株式会社羽生田鉄工所
有限会社原製作所
株式会社ナトリ
ナビコムアビエーション株式会社
ナフテコ株式会社
成田国際空港株式会社
NIGATA SKY PROJECT
ニダック精密株式会社
日刊工業新聞社 名古屋支社
日東光器株式会社
日本イーエスアイ株式会社
日本エアロスペース株式会社
日本エヤーラフトサプライ株式会社
日本検査キューエイ株式会社
日本航空株式会社
一般社団法人日本航空宇宙学会
一般社団法人日本航空宇宙工業会航空宇宙品質センター (JAQG)
一般社団法人日本航空宇宙工業会ロケットサポート研究会
一般財団法人日本航空機エンジニアリング協会
財団法人日本航空機開発協会
日本航空電子工業株式会社
日本シー・ビー・ケミカル株式会社
日本精工株式会社
日本通運株式会社
日本電気株式会社
日本飛行機株式会社
NPO 法人日本ビジネス航空協会
全米ビジネス航空協会
独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)
日本ボーリング株式会社
日本マルコ株式会社
岐阜県
原田精機株式会社
株式会社ビー・シー・シー
PPG Aerospace
日立金属株式会社
ヒロボレー株式会社
フィロージャパン株式会社
福岡県航空産業振興協議会
株式会社富士インダストリーズ
不二空機株式会社
フジコワ工業株式会社
富士重工株式会社
扶桑商事株式会社
株式会社ブルーム LMT
古河電池株式会社
HAYNES INTERNATIONAL KK
公益財団法人 防衛基盤整備協会
豊田工業株式会社
法政大学 御法川研究室
北海道宇宙科学技術創成センター
マイナミ空港サービス株式会社
マテリアルブラッシュジャパン株式会社
丸文株式会社
丸紅情報システムズ株式会社
まてんプロジェクト
三井精機工業株式会社
三井物産エアロスペース株式会社
三菱重工業株式会社
三菱航空機株式会社
三菱マテリアル株式会社
公益財団法人みやぎ産業振興機構
キョーユー株式会社
本田精機株式会社
引地精工株式会社
株式会社鉄工技研
株式会社登米精巧
小野精工株式会社
宮城共同受注ネットワーク (仮称)
株式会社ティ・ディ・シー
株式会社コイワイ
株式会社エヌエス機器
株式会社 DSS
みやぎ「航空機」市場・技術研究所
メイル株式会社
森村商事株式会社
ヤマザキマツク株式会社
新島ロジスティクス株式会社
横河電機株式会社
横河電子機器株式会社
有限会社横河エンジニアリングサービス
ランド・テクノロジー・ジャパン株式会社
株式会社リアルビズ
理研用具製造株式会社

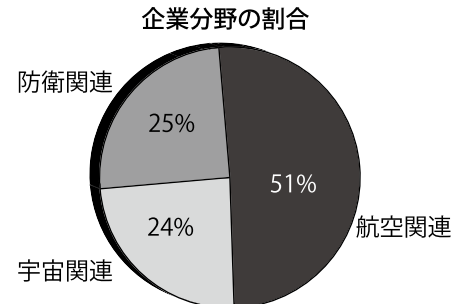
B to B その1：主催者企画による商談会

BCI 商談会参加企業の分析（アンケート回収率 37%）

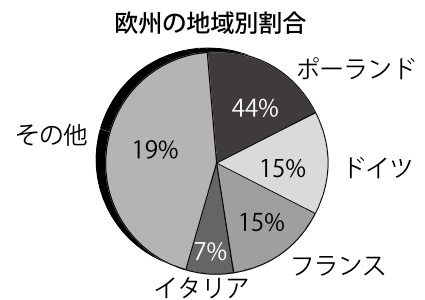
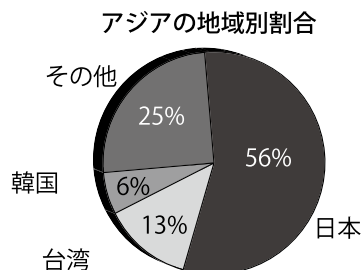
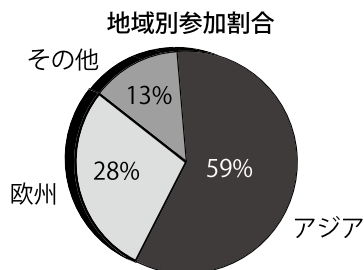
● B to B 参加出展社の企業規模は？



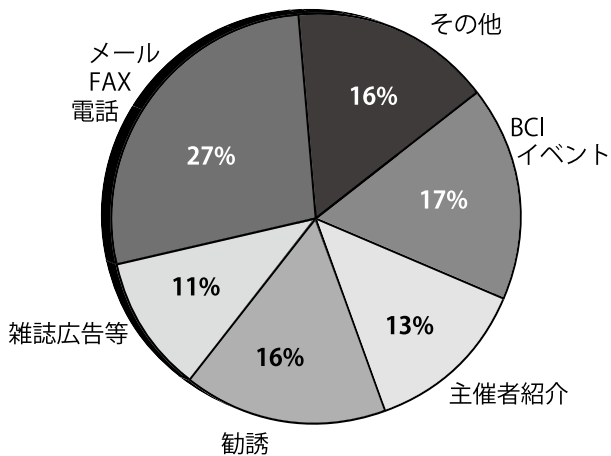
● B to B 参加出展社の企業ジャンルは？



● B to B 参加出展社の地域別分布は？

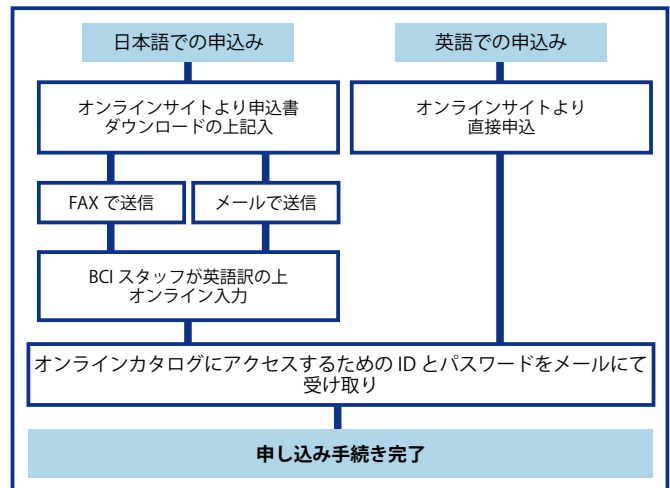


● B to B ミーティングを何によって知ったか？



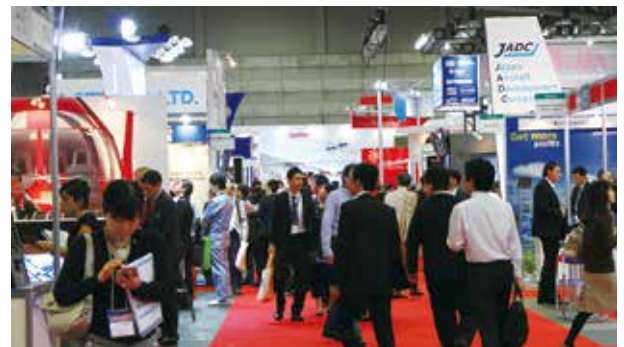
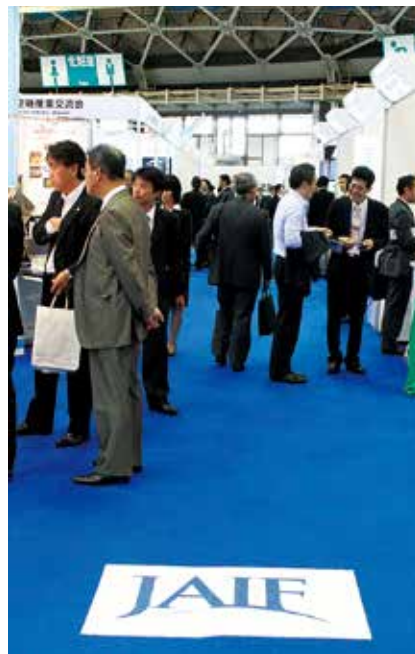
参加申し込みの手順の流れ

JA2012 ホームページ内、出展者ページより申し込む



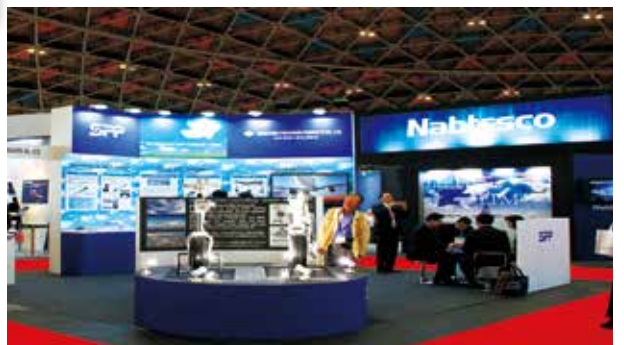
B to B その2：出展者個別商談会

JA2012 では BCI 商談会以外にも従来通り企業間での活発な商談が行われた。
特に日本航空宇宙フォーラム（J A I F）、東京都、JETRO 等による積極的な個別の商談も数百件行われた。



BCI 商談会参加企業の分析 2

1. 出展企業の国内外の割合からすれば、海外企業への参加が多かった。
2. 企業の業種をみていくと、当然であるがプライム企業、Tire 1 企業以外のサプライヤーの参加が圧倒的に多く、そのため中小企業の参加が多かった。
3. バイヤーの内訳は国内外ともエアライン企業+プライム企業 + Tire 1 企業で 70 ~ 80% が参加しており、商談相手としては絶好な機会があった。
4. サプライヤーは、国内海外とも Tire 2 企業、Tire 3 企業という製造請負の商談を希望する企業が 50%、そのほか試験装置、治具、ファスナー、解析請負等々、パッケージでプライム企業や Tire 1 企業に売り込む商談が半分と推測する。(50%が相当)
5. 従ってプライム企業が少ない日本でも B787 等による操業が増えてくれば、また無人機、エンジン、装備品等新規開発があれば、開発のための試験設備や支援機材等々の商談もあり、B to B 企画は、エアライン企業やプライム企業が少ない展示会でも成立するとも言える。



セミナー・シンポジウム

基調講演

- 我が国の航空宇宙産業の将来展望 講師：菅原郁郎氏（経産省 製造産業局長）
- 我が国の宇宙産業について 講師：西本淳哉氏（内閣府宇宙審議官・宇宙戦略室長）

特別講演



- 防衛航空機開発の歩み 講師：古賀久夫空将（防衛省技術研究本部）
- 宇宙航空に関する JAXA の取り組み 講師：樋口清司氏（JAXA 副理事長）
- MRJ-Made in Japan- を世界の空へ 講師：江川豪雄氏（三菱航空機 社長）
- 航空宇宙産業の将来展望と日本への期待 講師：Mr.David P.Hess（AIA 会長）
- 日本と欧州における研究開発の現状と将来
講師：Dr.Rudolf W.Strohmeier（欧州委員会 研究・イノベーション等曲 副総局長）

SJAC 主催 セミナー

米国・欧州航空産業との協力と日本への期待



- ボーイング 787 の教訓 講師：Mr.Luckey.Jeffry G（Vice President）
- ロッキード・マーチン社から見た国際的パートナーシップの将来 講師：Mr.R.Kirkland（Vice President）
- プラット&ホイットニー社の次世代製品の概要 講師：Mr.Bob Saia（Vice President）
- 再生型燃料電池 (RFC) 飛行実験実証 講師：船渡川治氏（IHI）
- UTC Aerospace Systems 社のビジネスと日本への期待 講師：Mr.Geoffrei Newma（Director）
- 航空分野での欧州との共同研究ロードマップ 講師：Mr.Patrick de Prevaux（Director ASD Rep.SUNJET）
- 欧州との共同研究紹介～防氷技術開発を例に～ 講師：坂部敦彦氏（FHI）
- エアバス社の革新と日本への期待 講師：Mr.Luis Nobre（Airbus）
- ロールス・ロイス社のビジネスと日本への期待 講師：Mr.Nick Peacock（Program Exective）
- タレス社のビジネスと日本への期待 講師：Mr.Loic De la Bourdonnays（Director）

宇宙セミナー～主要国の宇宙政策と日本の宇宙利用戦略



- 小型衛星開発 講師：Professor Sir Martin Sweeting（SSTL）
- 米国における宇宙開発と国際協力 講師：Mr.christopher Blackerby（NASA）
- フランスとの宇宙開発～次の 50 年に向かって～講師：Mr.Mathieu Giralou-Osawa（CNES in Japan）
- イタリアにおける主要宇宙プログラムと戦略 講師：Dr.Mario Cosmo（ASI）
- ロシア ISTC と日本との共同プログラム 講師：Dr.Tatiana Ryzhova（ロシア ISTC）
- 日本における宇宙産業政策 講師：門松 貴氏（経産省 宇宙産業室長）
- 実用準天頂衛星システム事業の推進 講師：野村栄悟氏（内閣府 宇宙戦略室参事官）
- JAXA における宇宙産業連携 講師：渡戸 満氏（JAXA）
- 宇宙システム開発とグローバルな宇宙利用拡大 講師：三本松 進氏（宇宙システム開発利用推進機構）
- 日本のロケットの現状と将来構想 講師：浅田正一郎氏（MHI）
- スラスタの輸出取り組み 講師：佐藤豊氏（IHI）
- 日本の衛星開発の現状と今後の戦略 講師：安達昌紀氏（NEC）

各国の航空宇宙産業の現状と主要バイヤーによる調達ポリシー



- カナダ航空宇宙産業 講師：Jim Quick（President AIAC）
- ボンバルディア流のグローバルサプライチェーン管理 講師：Mr.Jean-Francois Tessier（Director）
- ボーイング社グローバルサプライチェーンのリスクマネジメント 講師：Jeff Lucky（Vice President）
- 三菱重工の全社調達と民間航空機事業の SCM 戦略 竹嶋信弘氏（MHI）
- 航空機部品製造におけるメキシコへの進出機会 講師：Mr.Rodolfo Esau de Garza de Vega（Promexico）
- ポーランドの航空分野 講師：Mr.Arukadiusz Tamowski（Deputy Director PAIIZ）
- どのようにして韓国と日本が航空宇宙産業で協力できるか 講師：Mr.choon Young(Peter)song（Korea Aerospace Univ.）
- EADS/Airbus のグローバル調達 講師：Mr.Antoine Gaugler（EADS）
- Avio のコーポレート調達 講師：Mr.Paolo Sciascia（Avio）

セミナー・シンポジウム

- 重要でワイドレンジなケベックの航空宇宙分野 講師：Mr. Andre Bazergui (CRIAQ) /Mr.Mohan Patel (IQ)
- 川崎重工業 航空宇宙カンパニーの資材調達・方針と施策 講師：杉谷尚志氏 (KHI)
- マレーシア航空産業の展望 講師：Mr.Shamusui Kamar Abu Samah (MIGHT)
- イギリス産業概要 講師：Mr.David Scotter (ADS)



防衛セミナー

- 日本の防衛国際共同開発の見通し その機会と障害 講師：村松昌廣氏 (桃山学院大学)
- 企業持続はなぜクリティカルなのか？ 講師：Mr.Joseph Fengler (AIA)
- 『防衛装備品等の海外移転に関する基準』と防衛産業政策 講師：和久田 肇氏 (経産省 製造産業局)
- 防衛生産・技術基盤戦略の策定に向けて 川崎 方啓氏 (防衛省 経理装備局)
- 陸上航空の変遷と今後の動向 講師：関口 勝則氏 (防衛省陸幕 装備部)
- 海上防衛力整備 (航空機) の現状と課題 講師：北野修司氏 (防衛省海幕 装備部)
- 航空防衛装備の現状と将来 講師：西谷浩一氏 (防衛省空幕 装備部)
- F2 共同開発の教訓について 講師：浜田充氏 (MHI)
- ソフトウェア無線機の開発動向 講師：受川 裕氏 (NEC)
- 『安全保障に貢献する日立の防衛技術』～海底からサイバー空間まで～ 講師：新井利明氏 (日立製作所)
- 次世代の軍用エンジン 講師：Mr.Bojon Gindner (VP GE Aviation)
- 装備品国際共同開発プログラムにおける欧州の産業の経験 講師：Mr.Philipe Gueguen (Director Eurocopter)
- 武器輸出 3 原則の概観・米企業からの視点 講師：Mr.Peter Notarianni (Raytheon)



日本の航空技術の最新動向と今後の展望

- JAXA 航空の将来計画 講師：岩宮 敏幸氏 (JAXA)
- ENRI の研究開発と航空局の CARATS 講師：山本 憲夫氏 (電子航法研究所)
- 航空機先進材料の適用に関する最新動向 講師：榎本 清志氏 (素形材センター)
- プロダクトサポートのシステム化に関する最新動向 講師：春田 泰宏氏 (MHI) / 久野 保之氏 (富士通)
- 藻類バイオ燃料への期待と課題 講師：藤田 朋宏氏 (IHI NeoG Algae 合同会社)
- IT ロボット技術と無人機運用による航空の新発展 講師：岩田 拓也氏 (産業技術総合研究所)
- セラミック材料による塗断熱材への期待 講師：石子 達二郎氏 (日進産業)
- 超音速ビジネス機への挑戦～人のモビリティ・イノベーション～ 講師：坂田 公夫氏 (SKY エアロスペース研究所)



国産航空機の海外市場展開に向けて

- MRJ の開発進捗状況 講師：高堰 博英氏 (三菱航空機)
- US-2 の概要と民間転用について 講師：鴨頭 健氏 (新明和工業)
- C-2 輸送機の民間転用について 講師：大垣 正信氏 (KHI)



ICAO の環境規制への取り組み～グリーンアビエーションの実現に向けて～

- 我が国航空工業界の ICAO (CAEP) への取り組み 講師：中村 良也氏 ((前) アイ・エヌ・シー エンジニアリング)
- 航空機の環境排出物基準の方向性と取り組み 講師：森合 秀樹氏 (MHI)
- 航空機の騒音基準の方向性と取り組み 講師：大石 勉氏 (IHI)
- 運航からの取り組み～ JAL Bio Fuel / 運航方式～ 講師：船曳 孝三氏 (JAL)

革新航空機技術開発センター 成果発表会 出展企業プレゼンテーション

併設セミナーおよび国際会議 (一部公開)



International Aerospace Quality Group (IAQG) 名古屋会議

アジア旅客機フォーラム 2012 主催：東京都

中部地区の航空宇宙産業特区の取り組み 主催：愛知・名古屋航空宇宙シンポジウム実行委員会

第 4 回超小型衛星シンポジウム 主催：国連・東京大学

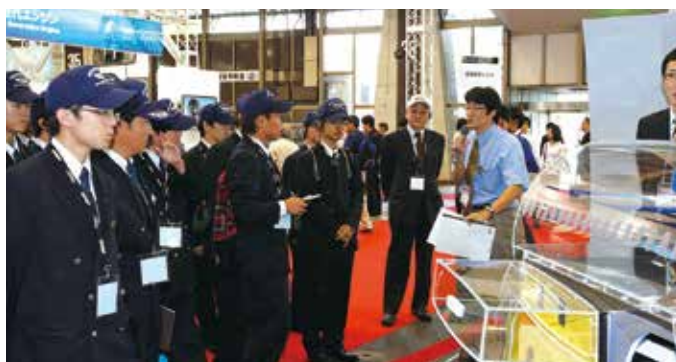
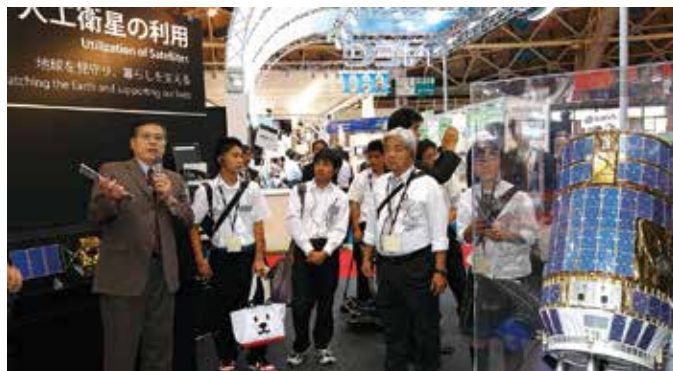
JAXA 航空シンポジウム in NAGOYA 主催：JAXA

パブリックイベント（ポートメッセなごや）

一般来場者サービス・イベント報告 2012年10月12日（金）～14日（日）

中高生向け館内ガイドツアー

10月12日（金）～13日（土）の2日間、ポートメッセ会場にてSJAC主催、中日新聞社協力による特別企画を実施した。名古屋工業高校11名、日本航空学園54名をはじめ、事前と当日の個別申込により、総勢7グループ145名を案内した。説明はSJACの技術部長をはじめ10名の部長により実施し、好評を博した。終了後参加者からお礼のメッセージを頂いた。



一般対象向け講演会

10月13日（土）14日（日）の2日間、ポートメッセ会場にて数々の講演会を実施した。これは一般の方々が日頃触れ合う機会が少ない航空宇宙産業界をもっと広く知って頂きたいという主催者側の企画による。会場ではJAXAの野口宇宙飛行士や寺田広報部長、京都造形芸術大学竹村教授、川崎重工業㈱、全日本空輸㈱乗務員、ブルーインパルスのパイロット他による講演にて総勢約1,000名が聴講した。



第8回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト

10月13日（土）14日（日）の2日間、ポートメッセ会場2号館にて（一社）日本航空宇宙学会主催によるコンテストが開催され全国の大学、高専、専門学校から55チーム（過去最高）が参加した。約1,000名の観衆が見守る中、学生たちは厳しい規定に合格した自作の飛行機をルール通りに飛ばして腕を競い合った。結果は1位東京大学、2位秋田工業高専、3位名古屋大学だった。



パブリックイベント（中部国際空港セントレア）

一般来場者サービス・イベント報告 2012年10月12日（金）～14日（日）

会期中16万人の来場者は予想をはるかに超える実績となったが、事前の準備態勢は万全で、開催中事故やトラブルの類はなく、安全かつセキュリティーを確保した運営を実行できた。特に中部国際空港セントレア（株）及び中部空港警察署の方々に多大な支援を受けた。特に空港内は通常の乗降利用客とのクロスによる混雑緩和に配慮する動線を設置することで解消、混雑最大時の14日（日）の帰宅時タイミングにおいても特別の混乱は見られなかった。



パブリックデー初日10月12日ドリームリフターの積み込み作業を間近で見学でき大好評。同時に連日ヘリコプターの飛行展示が行われ、航空ファンの期待に応えた。13日（土）14日（日）も天候に恵まれこの両日には多くの来場者が集まった。空港専用車両などの展示も人気を集めた。



ユーロコプター社の好意でJ A 2012開催期間中全日程にわたりヘリコプターフライトサービスが実施された。前半10月9日（火）～11日（木）はポートメッセ周辺の招待フライト、後半2会場開催期間中12日（金）～14日（日）は両会場間のVIP送迎などのシャトルフライトサービスを実施、関係者に好評を博した。セントレア会場には連日多数のパブリック入場者が来訪、特に13日（土）14日（日）はブルーインパルスの記念フライトも行われ会場内外に多くのファンが集った。



会場内案内に関しては名鉄空港駅出口の案内、並びに空港ビル内のポスター、パンフ配布などのインフォメーションを徹底し混乱なく来場者誘導ができるよう準備して実行した。



空港特設ビル（通称バスターミナル）内に航空宇宙関連業界への職業紹介ブースを用意、全国から14の教育機関・団体が出展、連日通路まで満員の盛況であった。同時に航空宇宙関連グッズを集めたグッズ販売コーナーを8店舗用意し、大いに好評を博した。その他ブルーインパルス・パイロットサイン会、航空評論家の出版記念サイン会、全国ゆるキャラ2011年度優勝「くまモン」のパフォーマンスもありパブリック会場を盛り上げた。

広報PR・メディア告知活動 -1 JA2012 事務局活動

■ 出展募集プロモーション (代表例)



英文案内 7,000 部



出展社案内 12,000 部



B to B 案内 4,000 部



チラシ 15 万部



日経全国版告知約 300 万部

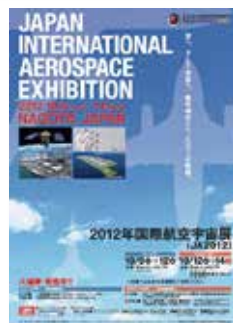
■ 来場者募集プロモーション (代表例)



名鉄社内吊 1,500 枚



トレード用
A1ポスター 2,000 枚



パブリック用
A1ポスター 3,500 枚



インターネットによる展開
JA2012では過去に例を見ないほどのWEBによるネットコミュニケーションを図りパブリックデー入場券などはネットでの販売オンリーの3日間有効スペシャルチケットを販売、予定数を倍以上上回る成果を上げた。

■ 当日情報サービス活動 (代表例)



公式プログラム 6,000 部
公式ガイドブック 2,000 部



両会場案内マップ
A2 8 万枚



セントレア会場ガイド
A4フライヤー 4 万枚

広報PR・メディア告知活動-2

J A 2 0 1 2 運営事務局は出展参加頂いた企業や団体に対し十分満足して頂ける様に、2年以上前から各メディアに対して記事ネタを定期的に提供した。出展して頂く以上、出展費用（ブース出展費用・展示装飾費用・出張旅費・その他）に対する費用対効果を十分得られるよう努力を重ねた。その成果は、多くの報道となり、純広告費に換算すると7.6億円に値する大きな効果を上げることができた。会期中も忙しい中、メディアの取材・インタビュー・撮影などに御協力頂いた出展各社に感謝する。

■ 新聞報道による成果

新聞による事前告知戦略は、全国紙でトレード関係に対するコミュニケーション、地元ブロック紙、地方紙でパブリック来場者に対するコミュニケーションであった。各新聞社の協力もあり多くの報道露出量を得ることが出来た。新聞報道は現状176件のクリッピングデータがファイリングされていて、その一部は16ページにおいて紹介する。



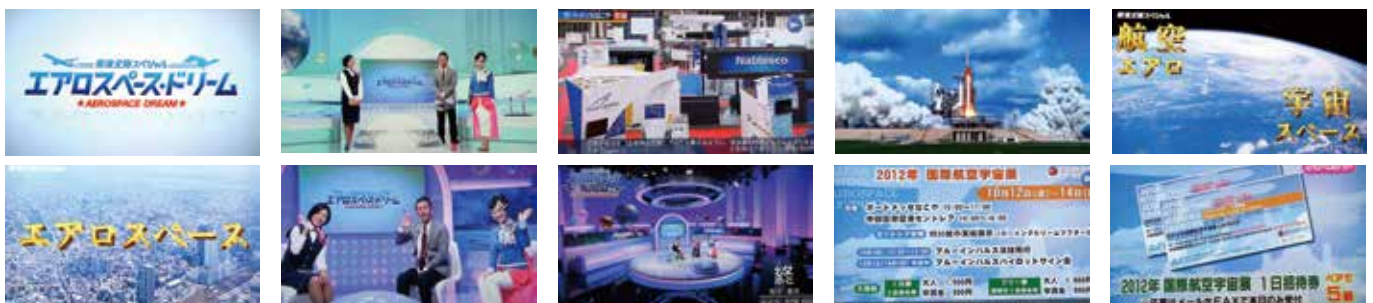
■ 雑誌報道による成果

雑誌報道は月刊エコノミスト10月号の航空宇宙関連特集号にタイアップ。J A 2 0 1 2 特集部分8ページを抜き刷り7万部を直前配布、大きな事前効果を上げた。また多くの航空関連専門誌が報告ページにおいて報道。会期中は航空新聞社「WING」及び航空ニュース社のショーニュース、英文業界誌SHOWDAILYを発行した。



■ テレビ報道による成果

NHK名古屋放送局の報道支援を得た。連日数度にわたるニュース報道に加え、10月12日（金）19:30から73分間にわたる航空宇宙関連特集番組を編成、J A 2 0 1 2 ポートメッセ会場からの中継及び航空宇宙産業の実態をレポートした内容を放映した。民放各社においても地元名古屋を中心に東京キー局系列で全国の地方放送局でニュース報道が流れた。



■ 官報などによる告知成果

愛知県、名古屋市、常滑市、その他各自治体・団体の官報において事前報道がなされ、その発行部数に応じたきめ細かい支援を得ることが出来た。特にパブリックデー入場券販売に大きな効果があった。

■ インターネットによる成果

公式ホームページでは、展示会の概要説明、出展申込、入場券入手に関する情報の充実掲載に努めた。展示会直前には、毎日150万件のアクセスがあった。その他SNSにおいて実機展示情報、展示機の会場飛来情報などが飛び交い、航空機撮影ファン層に大きな情報源となった。

主要新聞（全国紙）の報道実績（クリッピング総数 170 以上）

主要新聞（全国紙）の報道実績（クリッピング総数 170 以上）これ以外にも地元ブロック紙・中日新聞、日経産業新聞、日刊工業新聞など多数が報道。開催報道から始まり、海外大手メーカー同士のPR合戦まで幅広い報道がなされた。特に前半は開催告知やビジネス面での報道中心。後半12日以降はセントレア空港でのドリームリフターなど実機展示・ブルーインパルスなどのデモ飛行などの報道が中心で非常に情報面での充実がなされた。商談中心のB to B 主体展示会においては、あまり例がない多くの報道がなされた。

9日から国際航空

中部空港で来月12~14日 国際航空宇宙展

国際航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

国際航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

国際航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

ブルーインパルス編隊飛行も

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

ブルーインパルス編隊飛行も

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

ブルーインパルス編隊飛行も

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

ブルーインパルス編隊飛行も

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

航空宇宙展

10月9~14日

ボートメッセなごや、中部国際空港

連携企画多様に 秋の祭典

あいちサイエンスフェスティバル2012

2012 年国際航空宇宙展（JA2012）基本マーケティングデータ一覧

1. 展示会の規模

(1) 出展社・団体数、参加国数

	実績
出展社・団体	ポートメッセなごや 636 社・団体（国内 437、国外 199） セントレア 屋内展示：14 社・団体 実機展示：14 社・団体
参加国数	32 ヶ国・地域

(3) 式典／レセプション参加者数

関係各位	参加者数（人）	
	式典	レセプション
主催者代表	7	7
官公庁	8	21
地方自治体	56	79
海外関係	2	98
後援団体	1	25
大学関係	0	8
出展者	17	335
合計	91	573

(2) 入場者数

		10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	合計
ポートメッセ名古屋	トレード	5,5570	5,875	6,154	4,154	-	-	21,753
	パブリック	-	-	-	3,790	8,791	7,873	20,454
セントレア	パブリック	-	-	-	9,670	42,358	68,649	120,677
	合計	5,570	5,875	6,154	17,614	51,149	76,522	162,884

2. セミナー・シンポジウム

(1) SJAC 主催の公開セミナー

日時	講演内容	聴講者（人）
10 月 9 日（火）	記念講演	502
10 月 10 日（水）	米国・欧州航空産業との協力と日本への期待	371
	宇宙セミナー	147
	革新航空機技術開発センター成果発表会	94
10 月 11 日（木）	各国の航空宇宙産業の現状と主要パイヤーによる調達ポリシー（Part 1）	251
	防衛セミナー	368
	各国の航空宇宙産業の現状と主要パイヤーによる調達ポリシー（Part 2）	306
	日本の航空技術の最新動向と今後の展望（Part 1）	171
	ICAO の環境規制への取り組み	26
10 月 12 日（金）	日本の航空技術の最新動向と今後の展望（Part 2）	148
	国産航空機の海外市場展開に向けて	258

(2) SJAC 以外の機関・団体主催の公開セミナー

日時	講演内容	主催者	聴講者（人）
10 月 10 日（水）	公開シンポジウム「アジア旅客機フォーラム 2012」	東京都	140
10 月 11 日（木）	中部地区の航空宇宙産業特区の取り組み	愛知・名古屋航空宇宙シンポジウム事務局	136
10 月 12 日（金）	JAXA 航空シンポジウム in Nagoya	JAXA	254
	第 4 回 超小型衛星シンポジウム	国連・東大	270

3. ビジネス商談会（B to B ミーティング）

	実績（2 日間）
商談会数	3,497 回・人
参加企業	235 社（海外：97 社 国内：138 社）
参加国	18 ヶ国

4. 屋外展示（セントレア会場）

(1) 固定翼機（16 機）

	企業名・団体	機種
1	ボーイング	ドリームリフター
2	ダイヤモンドエアサービス	三菱式 MU-300 型機
3	栃木県航空協会	富士 FA-200
4	宇都宮フライングクラブ	富士 FA-200
5	JAXA	セスナサイテーション・ソプリン
6	国土交通省航空局	グローバルエクスプレス
7	中日新聞社	リアジェット 31A
8	朝日航洋	セスナ式 560 型サイテーション V
9	ジャブコン	WACO
10	岡山航空	セスナ C172
11	スカイクリエーション	パイパーアロー
12	中日本航空	ビーチ 200 型
13	個人所有	ガルフストリーム G450
14	航空自衛隊	T-4
15		C-1
16		T-7

(2) 回転翼機（8 機）

	企業名・団体名	機種
1	名古屋市消防局	ユーロコプター AS365N3
2	海上保安庁中部航空基地	ベル 212
3	スカイクリエーション	ロビンソン R-22
4	ユーロコプタージャパン	EC135
5	川崎重工業／セントラルヘリサービス	BK117
6	陸上自衛隊	OH-1
7		UH-1
8	海上自衛隊	SH-60J

5. 飛行展示（11 機）

	企業名・団体名	機種
1	名古屋市消防局	ユーロコプター AS365N3
2	海上保安庁中部航空基地	ベル 212
3	ユーロコプタージャパン	EC135
4	川崎重工業／セントラルヘリサービス	BK117
5	航空自衛隊	T-4（ブルーインパルス）6 機
6	陸上自衛隊	OH-1

6. 屋内ブース展示（セントレア会場）

	出展した操縦士や整備士等を育成する企業、機関、学校等
1	日本航空（JAL）
2	全日本空輸（ANA）
3	川崎重工業／セントラルヘリコプターサービス
4	中日本航空専門学校
5	アルファアビエーション
6	スカイクリエーション
7	国土交通省 航空保安大学校
8	防衛省 自衛隊愛知地方協力本部
9	帝京大学 理工学部 航空宇宙工学科
10	東海大学 工学部 航空宇宙工学科
11	学校法人 君が淵学園 崇城大学
12	学校法人 日本航空学園 日本航空専門学校石川
13	ヘリコプター歴史保存協会
14	NPO 法人 羽田航空宇宙科学館推進会議（HASM）

7. パブリックイベント

館内ガイドツアー	日本航空専門学校、名古屋工業高校、一般公募にて 7 回実施	145 名
講演会	「野口さん、宇宙ってどんなにおいですか」 講師：JAXA 宇宙飛行士 野口聡一氏	287 名
	「ANA なるほど！空の秘密」 講師：ANA パイロット、キャビンアテンダント	201 名
	「地球目標で未来をデザインする」 講師：京都造形芸術大学教授 竹村真一氏	130 名
	「日本の宇宙開発はどこまで進んだか」 講師：JAXA 広報部 部長 寺田弘毅氏	130 名
	「航空技術と社会～ニッポンの飛行機 川崎 T-4 とブルーインパルス～」 講師：川崎重工業 サブチーフデザイナー 吉田茂氏 航空自衛隊 ブルーインパルス操縦士	195 名
第 8 回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト（日本航空宇宙学会主催）		参加：55 チーム 観客：ピーク時約 1,000 名

achieve Your Business Goals at

JAPAN INTERNATIONAL AEROSPACE EXHIBITION

October 9 (Tue) to 14 (Sun)
2012

GOYA, JAPAN

Program of the B to B Meetings

October 9-10-11, 2012

Trade days

to industry professionals only

Organizer: The Society of Japanese Aerospace Companies (SJAC)

WHERE?

The main area of the B to B Meetings will take place in Port Messe Nagoya where BCI Aerospace team will be pleased to welcome you.

Port Messe Nagoya is Central Japan's largest international exhibition center. Sub to the theme "Inspired communication with the world", it has hosted many events and received participants from all over the globe. In addition to the conference hall, conference rooms, event hall, and restaurant, there are separate outdoor halls offer 54,000m² of free space. The Aomori Line connects Nagoya Station with nearby Kyo-Futo Station in 24 minutes.

CONTACTS

Official B to B Meetings - BCI Aerospace Division
General registration of the B to B Meetings for JA2012

10/17 New del. Abroad - 0111-8771-8771 (Tokyo) / 011-8771-8771 (Nagoya)

10/18 - 045-555-1000 - 045-555-1001 (Nagoya)

Telephone: 045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

045-555-1000 - 045-555-1001

JAPAN INTERNATIONAL AEROSPACE EXHIBITION

October 9 (Tue) to 11 (Thu)

2012

NAGOYA, JAPAN

BtoB Meetings

IN PARTNERSHIP WITH

BCI AEROSPACE



JAPAN INTERNATIONAL AEROSPACE EXHIBITION

お問い合わせ

(一社) 日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル2F

TEL.03-3585-1641 FAX.03-3585-0541 Web-Site <http://www.sjac.or.jp> E-Mail ja2012@sjac.or.jp

2012年国際航空宇宙展 (JA2012) 結果報告書 非売品

発行者 (一社) 日本航空宇宙工業会 (SJAC)

編集者 国際航空宇宙展事務局

プランニング&ディレクティング 新庄俊郎

デジタル処理・デザイン エールプランニング・染谷和彦

写真提供 伊佐治治仁、宇野博幸、久野直哉、鈴木智子、田中智久、千達哲史、豊田将之、嶺澤宏和、吉田 茂、中北邦夫、新庄俊郎